

平成23年度 事業概要



2011・国際森林年

森を歩く



定光寺自然休養林(愛知森林管理事務所管内)



信越トレイル(北信森林管理署管内)



中部森林管理局

平成23年4月

問合わせ先: 中部森林管理局 総務課 広報

TEL 050-3160-6513 FAX 026-236-2733
URL <http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>

目 次

1	基本方針	1
	○ 森林・林業の再生に向けた取組の推進	
2	森林の有する公益的機能の持続的発揮	3
	○ 森林の公益的機能の持続的発揮や地球温暖化の防止	
3	生物多様性の保全	5
	○ 貴重な森林生態系等の保全・管理	
4	森林・林業の再生に向けた取組	7
	○ 利用間伐の推進や木材の安定供給・利用の拡大、森林共同施業団地の設定や人材育成のための研修フィールド・技術力の提供等	
5	国民が森林とふれあう場等の提供	9
	○ 国民が森林とふれあう場等を整備・提供することなどを通じた森林の保健・文化・教育的利用の推進や地域振興等への寄与	
6	技術の向上	11
	○ 森林施業技術等の開発・普及や人材育成のための研修等の実施	
7	透明性の高い形での国有林野の管理経営の推進	12
	○ 国民との双方向での情報の受発信による透明性の高い形での国有林野の管理経営の推進	
	参考資料 管内概要	13

1. 基本方針 ～森林・林業の再生に向けた取組の推進～

森林・林業を巡る状況

我が国における森林・林業を巡る状況として、次のようなものが挙げられます

- 森林の有する多面的機能の発揮に対する国民の期待の多様化・高度化
- 利用可能な人工林資源の増大や世界的な木材需給の不透明さの高まり等による木材自給率の向上への期待
- 木材利用の拡大による低炭素社会づくりへの期待

施策の方向性

「森林・林業再生プラン」(平成21年12月)及び同プランの実現に向けた具体的な方策をとりまとめた「森林・林業の再生に向けた改革の姿」(平成22年11月)を踏まえ、国有林として

- 地球温暖化の防止や生物多様性の保全を始めとする多様な森林づくりの推進
 - 森林・林業の再生に向けた
 - ・搬出間伐と路網整備の加速化や国産材の安定供給体制の構築及び木材利用の拡大
 - ・森林共同施業団地の設定、「准フォレスター」による市町村への支援、人材育成のための研修フィールド・技術の提供など民有林との連携の推進
- などに積極的に取組むことが求められています。

中部森林管理局としての取組

中部森林管理局としての取組方針

○ 公益的機能の維持増進を旨として、「国有林野の管理経営に関する基本計画」(平成20年12月)や「森林・林業再生プラン」(平成21年12月)等を踏まえた管理経営や民有林との連携により森林・林業の再生に貢献します

- 中部森林管理局では富山県、長野県、岐阜県、愛知県の森林243万haの約3割を占める66万haの国有林野を管理経営しています管内の国有林は、都市近郊から日本アルプスの山岳地帯まで幅広く分布し、その多くは急峻な脊梁山脈や重要な水源地に位置していることから、山地災害の防止や下流域への良質な水の供給等に大きな役割を果たしています

管内各県の国有林の分布状況



～水の交流～ 命の源である水を育み国土を保全する森林を上下流が連携して守り育てる取組を積極的に進め、各流域における水を通じた交流を推進します



漁民の森林づくり
(愛知所)

～木の交流～ 地球温暖化の防止や循環型社会の構築に向け、民有林関係者との連携による木材の安定供給及び公共施設への木材利用や地域材を利用した木造住宅の建築促進などの要請により、生産者から消費者までの木を通じた交流を推進します



地域材利用の推進
(岐阜署新庁舎)

～人の交流～ 地域との協働や連携を図りながら、それぞれの森林の特性に応じた森林とのふれあいや森林づくりなどの各種活動を通じて人の交流を推進します



木曾川下流の中学生による遊歩道へのチップ敷き(木曾署・木曾森林環境保全ふれあいセンター)

2 森林の有する公益的機能の持続的発揮

○管内の国有林野は、「日本の屋根」と呼ばれる日本アルプスを中心とした脊梁山脈や重要な水源地に広く分布していることから、安全・安心な国土管理の要として、国土保全・水源かん養・地球温暖化の防止等に果たす国有林野の役割や国民の期待等を踏まえ、森林の公益的機能の持続的発揮や地球温暖化の防止に取り組めます

①国土保全や地球温暖化防止等に資する健全な森林づくりー 森林整備事業等

- ◆ 山地災害の防止、水源かん養等の公益的機能の発揮に加え、森林吸収目標1300万炭素トンの達成に向けて吸収源としてカウントできる森林を効率的かつ確実に増やすため、森林整備事業等による間伐等の着実な実施に努めるとともに、長伐期化、天然力を活用した針広混交林化など、多様で健全な森林づくりを推進します

23年度 主な事業量

(単位: ha)

区分	植付	下刈り、 つる切り等	間伐
平成21年度	79	4,528	8,009
平成22年度	59	4,083	6,644
平成23年度	33	4,118	7,226

※各年度とも当初予定ベース



下刈りの実施(東濃署)



列状間伐の実施(南信署)

②森林整備や木材利用を進めるための路網の整備ー 林道事業

- ◆ 間伐などの森林整備に必要な路網を計画的に整備するとともに、間伐材の搬出・利用を図る利用間伐の拡大に積極的に取り組むため、開設コストの低い工夫で簡易な路網の整備を加速化します

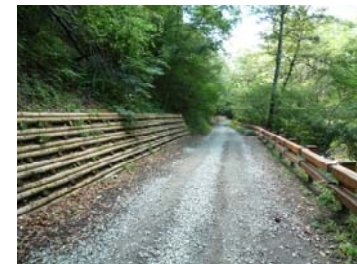
- ◆ 「新農林水産省木材利用推進計画」に基づき、森林土木工事等において間伐材等の木材利用の拡大に努めます

計画的な路網整備の実施

(単位: km)

区分	林道等新設
平成21年度	12.3
平成22年度	16.7
平成23年度	17.9

※各年度とも当初予定ベース



木製ガードレール等を設置した林道(東信署)

③国民の安全・安心の確保のための国土保全対策－治山事業

23年度 主な事業量

区分	溪間工(基)	護岸工(m)	山腹工(ha)	集排水ボーリング (地すべり防止工) (m)
平成21年度	137	432	60	895
平成22年度	63	165	72	2,331
平成23年度	102	351	61	2,896

※各年度とも当初予定ベース

荒廃地の早期復旧等

- ◆ 国有林と民有林が連携して流域全体を通じた国土保全を図るため、管内の国有林野の94%を保安林として指定し、間伐等による災害に強い健全な森林づくりを進めるとともに、集中豪雨や地震等により発生した崩壊地等を治山施設の整備により早期に復旧し、下流への被害を未然に防止します

木材利用の推進や生物多様性保全等に資する対策

- ◆ 間伐材等木材利用、生物多様性の保全に資する取組等を積極的に推進します

大規模災害発生時の迅速な対応

- ◆ 大規模災害発生時は、ヘリコプターの活用等により、民有林とも連携して、調査や応急対策、復旧計画の策定、復旧事業の実施など迅速に対応します

荒廃した森林・林地を治山施設の整備により早期に復旧
(小谷村、中信署)



崩壊直後



復旧後

木材利用の推進、生物多様性保全等への貢献



間伐材を利用した土留工
(岐阜署)



地域の子供達も参加した生物多様性の
保全に資する荒廃地の復旧
(東信署)

長野県北部地震発生時の県と連携した取組



地震発生日に被災状況を確認
(北信署)



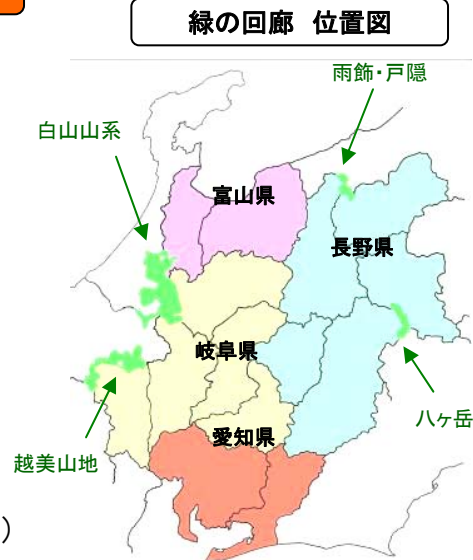
長野県と合同での現地調査
(北信署)

3 生物多様性の保全

○ 貴重な森林生態系等を国民共通の財産として適切に保全・管理するための取組を推進します

① 保護林など優れた自然環境を有する森林の保全・管理

- ◆ 保護林の適切な保全管理や機能評価のためのモニタリング調査を実施します
- ◆ モニタリング調査を踏まえ、上高地ケショウヤナギ等林木遺伝資源保存林の区域を見直し、保護管理を充実させます
- ◆ 緑の回廊について野生動植物の生息・生育状況を把握するためのモニタリング調査を実施します
- ◆ 森林生態系を保護するため、帰化植物の除去作業など、NPO等と連携した保護活動を実施します(立山、乗鞍岳)
- ◆ 木曽駒ヶ岳や雲ノ平における高山植物の復元活動や長野県西部地震災害復旧地における自然再生事業等を、NPOやボランティア等と連携して実施します(富山署、木曽森林環境保全ふれあいセンター)



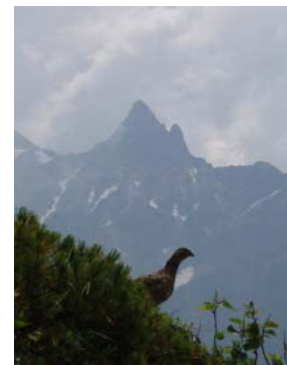
上高地のケショウヤナギ群落
(中信署)



帰化植物の除去作業(飛騨署)

② 希少な野生動植物種の保護管理

- ◆ 北アルプス及び御岳においてライチョウの生息調査及び生息地の巡視を実施します
- ◆ 東信地域においてイヌワシの生息地の巡視などを実施します
- ◆ 東信地域においてアツモリソウの生育地の巡視を実施します



ライチョウ(槍ヶ岳)



アツモリソウ(東信署)

③利用者等への啓発活動

- ◆ 立山や御嶽山など管内百名山を中心に、グリーンサポートスタッフ等による利用者への啓発活動等を実施します

* グリーンサポートスタッフ(GSS: 森林保護員)
植生の荒廃等の状況把握や利用者へのマナーの啓発活動等を行うことを目的に
平成18年度から開始



美ヶ原でのゴミ拾い
(中信署)

④野生鳥獣との共存に向けた取組

- ◆ 南アルプス、八ヶ岳、美ヶ原、浅間、霧ヶ峰の5地域において、モニタリング調査による生息状況の把握、多様で健全な森林整備による生息環境の改善、捕獲による個体数調整等を、地元シカ被害対策協議会等との協働により総合的に実施し、鳥獣との棲み分け・共存を可能とする地域づくりに取組みます

具体的には

- ・ 南北八ヶ岳保護管理運営協議会等との協働による高山植物の保護を目的とした防護柵の設置やワナ等による捕獲
- ・ 御柱の森づくり協議会との協働によるモミの食害防止ネットの設置などの事業に取組みます



森林官等によるワナの設置
(南信署)



麦草峠での高山植物を保護する
防護柵の設置(東信署・南信署)

⑤多様で健全な森林づくり

- ◆ 適切な間伐の実施、長伐期化、針広混交林化など、それぞれの地域の森林の現況に応じて、豊かな自然環境を支える多様で健全な森林づくりを推進します



間伐により明るくなった林内(北信署)



間伐による豊かな下層植生の導入
(愛知所)

4 森林・林業の再生に向けた取組

○ 低コスト・高効率作業システムの普及・定着による利用間伐の推進や木材の安定供給及び木材利用の拡大に率先して取組むとともに、森林共同施業団地の設定や人材育成のための研修フィールド・技術力の提供等により、森林・林業の再生に向けた取組を推進します。

①低コスト・高効率作業システムの普及・定着

- ◆ 各署等の素材生産請負事業地における現地検討会等により、○低コスト・高効率作業システムの取組地形・林況等に応じて路網と高性能林業機械等を組み合わせた低コスト・高効率作業システムの普及・定着に取り組めます
- ◆ 効率的な間伐・路網整備等に資する「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」に基づく民間競争入札(総合評価落札方式、複数年契約)を導入します

区分	発注件数
平成21年度	21
平成22年度	52
平成23年度	70

※各年度とも当初予定ベース



高性能林業機械の活用
(岐阜署)

②木材の安定供給及び利用の推進

木材の効率的な利用等のための利用間伐の推進

- ◆ 木材の効率的な利用及び安定供給のため、間伐材の搬出・利用を図る利用間伐の推進に取り組めます

需給動向等に応じた計画的な生産・販売の推進

- ◆ 木材需給や木材産業の動向などを的確に把握し、これに対応した林産物の供給や新規需要の開拓などにより、戦略的な生産・販売を推進します

- ◆ 間伐等に伴い生産される一般材や低質材を安定的かつ円滑に販売するとともに国産材の利用拡大を図るため、透明性を重視した企画競争によるシステム販売の協定を締結し、計画的な販売を促進します

- ◆ 木曾ヒノキなど特産樹種については、市場動向等を踏まえつつ、継続的な供給に取り組めます

公共施設やバイオマス等としての木材利用の推進

- ◆ 木材の利用促進を図るため、庁舎や森林土木工事等における間伐材等の積極的な利用や、広く消費者の皆さんに木材利用を呼びかける取組を推進します

利用間伐の推移

区分	間伐面積(ha)	指数
平成21年度	2,263	100
平成22年度	2,374	105
平成23年度	3,594	159

※各年度とも当初予定ベース



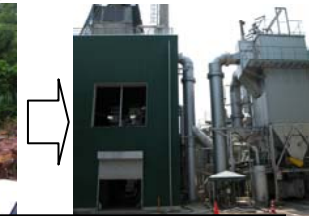
間伐材の安定的な供給(木曾署)

23年度 主な事業量

(単位:千m3)

区分	伐採量			販売量	
	主伐	間伐	計	素材	立木販売
平成21年度	67	574	640	150	60
平成22年度	93	544	637	170	65
平成23年度	108	602	710	200	90

※各年度とも当初予定ベース



間伐材のバイオマス発電利用(北信署)



③森林施業の共同団地化等による森林整備の推進

◆ 民有林と国有林が混在している地域等において、スケールメリットを活かした、より効率的な森林整備を進めるため、民有林関係者との森林整備の推進等に関する協定の締結や、これに基づく民有林・国有林が一体となって路網の整備や間伐等の森林施業を行う「森林共同施業団地」の設定等に積極的に取り組めます



健全で豊かな森林づくりの推進について覚書を岐阜県と締結（平成22年9月、岐阜県庁）



覚書に基づき、高山市において森林共同施業団地を設定（平成23年3月、飛騨署）

高山市一色・山中山地域森林整備推進協定締結地の概要

- 協定締結者
飛騨森林管理署長、一惣造林組合長、岐阜県飛騨農林事務所長、高山市長、(独)森林総合研究所森林農地整備センター岐阜水源林整備事務所長、(社)岐阜県森林公社理事長、飛騨高山森林組合代表理事組合長
- 協定期間
平成23年4月1日～平成27年3月31日
※期間は、協定者の協議により延長できる。

区分	面積(ha)
民有林	1,135
国有林	1,594
合計	2,729



- 間伐等による森林整備の推進 (692ha)
- 効率的な林業専用道等の整備 (14,840m)
- 木材の安定的な供給 (18,300m³)
- 一体的な林業専用道等の維持管理
- 中間(共同)土場の有効活用

④人材の育成

◆ 国有林のフィールド及び技術力を活用し、新たに市町村森林整備計画の策定等市町村行政を支援する准フォレスターや林業専用道技術者等の育成を図ることとします



人材育成のための研修会(森林技術センター)

⑤林業事業体の育成

◆ 低コスト・高効率作業システムの現地検討会等への林業事業体の参加の促進や林業への新規参入を目指す建設業者等へのチェーンによる伐木造材作業等の技術指導、林業事業体育成協議会を通じた各県との情報交換等により、民有林行政とも連携して林業事業体の育成に努めます



「低コスト・高効率作業システム」の現地検討会(東濃署・岐阜署)

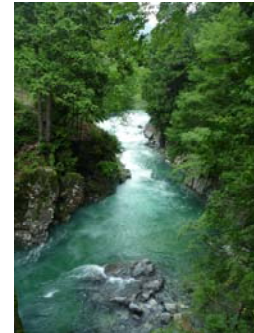
5 国民が森林とふれあう場等の提供

○ 多くの国民の皆さんが森林とふれあう場等を整備・提供することなどを通じて、森林の保健・文化・教育的利用の推進と地域振興等への寄与に努めます。また、本年が国際森林年であることも踏まえ植樹祭や森林教室等を積極的に実施します

①森林とのふれあいの場の提供

◆ レクリエーションの森の整備・活用

- ・ 自然休養林等のレクリエーションの森について、地元協議会との連携・協力やサポーター制度の導入等による民間活力の活用により施設整備等に取り組むとともに、これらを広く国民の皆さんに森林とふれあう場として提供し、森林の保健・文化・教育的利用を推進するとともに、観光等地域の振興に貢献します
- ・ 枯損木等による事故防止のため、点検や標識の設置等による利用者の安全確保対策を施設管理者と連携して行います
- ・ レクリエーションの森を安全で快適かつ効果的に利用するため、国際森林年のテーマが「森を歩く」ことも踏まえ、局ホームページ等を通じた情報提供の充実に取り組みます



阿寺溪谷(南木曾支署)

- ◆ 利用者の創意工夫による多様な森林空間利用を進めるため、北信地域において「森林ふれあい基地づくり整備モデル事業」(ファミリー・フォレスト・ガーデン(略称:FFG))を実施し、多様な形で森林とふれあう場の提供及び利用者の活動支援に取り組めます



FFG(カヤの平自然休養林・北信署)

②森林づくり活動等のフィールド提供

◆ 森林の整備・保全等への国民参加の推進

- ・ 企業やNPO法人等による国民参加の森林づくりや社会貢献活動等を推進するため、「ふれあいの森」や「遊々の森」等の設定によるフィールドの提供や活動の支援等に取り組めます
- ・ 森林とのふれあいや森林づくり活動、自然環境保全活動等への参加を希望する都市住民の皆さんを対象として「名古屋シティ・フォレスター事業」を実施します



「風とせせらぎの森林」(社会貢献の森)におけるタケの除去作業(富山署)



名古屋シティ・フォレスター事業(名古屋事務所・愛知所)

③森林環境教育の推進

- ◆ 教育関係機関、NPO等とも連携し、森林環境教育を推進します

具体的には

- ・ 小中学生等を対象とした「出前授業」や森林体験教室、親子森林探検隊等の開催
- ・ 小中学校の教職員を対象とした森林・林業体験学習会の開催
- ・ 定光寺自然休養林(愛知県瀬戸市)等をフィールドとした、森林の働きや木材利用等をテーマとした「森林ふれあい講座」の開催
などに取組みます



「出前授業」
(木曾森林環境保全
ふれあいセンター)

- ◆ 「広めよう！森林づくりの大切さの輪を全国へ！」をキャッチフレーズとして
「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin信州を8月に長野県松本市で開催します



「森林ふれあい講座」
での湿原観察
(名古屋事務所・愛知所)

④「国際森林年」への取組

- ◆ 平成23年(2011年)は世界の森林の持続可能な利用や保全の重要性を周知するため国連が定めた「国際森林年」であり、我が国では「森を歩く」をメインテーマとしており、各署等で森林ウォーキングや植樹などのイベントを開催します
また、イベントカレンダーをホームページに掲載し、情報提供に努めます

イベント一例 ・「田立の滝周辺ハイキング」(南木曾支署)
・「どんぐりでナラ枯れの里山を再生させよう！」
(名古屋事務所・愛知所)

※イベント情報はホームページで随時更新します

- ◆ 国際森林年を記念した分収造林を公募により推進します



植樹祭 (岐阜署)



2011・国際森林年



親子森林探検隊
(東信署)



森林ウォーキング
(南木曾支署)

6 技術の向上

○ 森林に対する多様化・高度化するニーズに対応するため、大学等とも連携して、森林施業技術等の開発・普及や技術の向上のための研修・技術検討会等を実施します

① 森林の公益的機能を持続的に発揮するための森林施業技術等の開発・普及

◆ 森林の公益的機能の持続的発揮を図るため、地域の特色やニーズを踏まえた森林施業法等の技術の開発・普及に計画的に取り組めます

平成23年度中部森林管理局技術開発課題(予定)

- ・長伐期施業における樹冠長率を指標とした森林管理技術の開発
- ・採食嗜好性向を応用したヒノキ食害の抑制について
- ・路盤支持力に応じた路網の開設について など

長伐期施業における樹冠長率を指標
とした森林管理技術の開発
(森林技術センター)



② 研修や技術検討会等を通じた職員的能力向上

◆ 「国民の森林」の管理経営及び森林・林業の再生に向けた人材を育成するため、森林・林業に関する専門的な知識や技術、民有林の制度等の習得を図るための各種研修や現地検討会等を実施します



路網作設の現地検討会 (南信署)



山地災害調査方法の現地検討会
(南木曾支署)

③ 中部森林技術交流発表会等を通じた技術の向上

◆ 中部森林技術交流発表会を開催し、管内国有林・民有林の行政機関や大学生、高校生等が日頃から取り組んでいる森林・林業に関する試験研究、林業体験活動、森林ふれあい活動等の取り組みについて発表の場を設け、関係者の技術交流を深めるとともに、これらの成果の普及等を図ります



中部森林技術交流発表会(中部局)

7 透明性の高い形での国有林野の管理経営の推進

○ 国民の皆さんとの双方向での情報等の受発信により、透明性の高い形での国有林野の管理経営を進めます

① 森林計画の策定における地域に根ざした幅広い情報等の反映

- ◆ 森林計画の策定にあたって、地域の国有林の森林資源や整備、利活用等に関する情報を広く提供するとともに、地域の皆さんとの懇談会や現地見学会の開催、ホームページ等による計画案に対する意見募集を実施し、地域に根ざした幅広い情報や国有林に対する要請を森林計画に反映させるよう取組みます

〔 H23 懇談会実施計画区 伊那谷・木曾川・東三河森林計画区

H23 策定計画区 神通川・木曾谷・飛騨川森林計画区

- ◆ 地域の森林・林業、自然環境等の地域情報に精通した方を「国有林アドバイザー」として委嘱し、国有林野事業の運営等に関する情報の提供や助言をいただき、地域の特性に応じた国有林野の管理経営に反映させます



地域住民との懇談会(H22.11)
(神通川森林計画区・富山署)



現地見学会(H22.10)
(飛騨川森林計画区・岐阜署)

② 国有林モニター制度等を通じた国有林への要請等の反映

- ◆ 一般公募により選定した「国有林モニター」を対象とした国有林の取組等に対するアンケート調査の実施や現地見学会・モニター会議の開催等により、国有林に対する要請等を把握し、管理経営に反映させます



国有林モニター会議(東濃署)



③ 各種委員会を通じた透明性等の確保

- ◆ 発注者綱紀保持委員会や入札監視委員会、その他の各種委員会における外部有識者等による審議や意見聴取等を通じて、中立性・透明性の高い形での工事等の入札の執行や契約の適正化を図るとともに、労働安全衛生の確保等を通じて事務・事業の適正な実施を図ります



入札監視委員会(局)

参考資料

管内概要

○ 人天別機能類型別面積

単位:千ha

機能類型区分	細 分	合 計							
		人工林		天然林		その他		計	
			率		率		率		率
水土保持林	国土保全タイプ	48	7	201	31	14	2	264	40
	水源かん養タイプ	108	17	42	6	2	0	153	23
	計	157	24	243	37	16	2	416	64
森林と人との共生林	自然維持タイプ	1	0	115	18	72	11	188	29
	森林空間利用タイプ	12	2	23	4	4	1	39	6
	計	13	2	138	21	76	12	227	35
資源の循環利用林		11	2	1	0	1	0	12	2
合 計		180	28	382	58	93	14	655	100

- * 平成23年3月31日現在 森林調査簿データによる
- * 四捨五入により単位以下となるものは0表示
- * その他とは高山帯、林道敷等の面積である。
- * 項目ごと単位以下四捨五入のため計が一致しない場合がある

○ 保安林面積

単位:千ha

区分	面積
保安林	636

- * 平成23年3月31日現在保安林台帳面積による
- * 官行造林面積を含む

○ 保護林面積

単位:千ha

区 分	箇所数	面積
保護林	144	102

- * 平成23年3月31日現在 森林調査簿データによる
(県別箇所数の集計のため、重複(3箇所)を含む)

○ 緑の回廊

単位:千ha

名称(箇所名)	面積
越美山地	7
白山山系	24
雨飾・戸隠	4
八ヶ岳	6
合 計	40

- * 平成23年3月31日現在 森林調査簿データによる
- * 項目ごと単位以下四捨五入のため計が一致しない

○ レクリエーションの森

単位:千ha

区分	箇所数	面積
自然休養林	11	16.0
自然観察教育林	20	4.6
風景林	45	9.2
森林スポーツ林	7	0.3
野外スポーツ地域	22	3.5
風致探勝林	32	4.1
合 計	137	37.7

- * 平成22年4月1日現在 管理運営方針書による
- * レクリエーションの森施設敷(単独施設)は含まない。